

## こどもの病気 「脂漏性湿疹」

あかちゃんの頭髮の部分が、かさぶたのように「カピカピ」になってしまうことがあります。「これはなに!?!」「もしかしてアトピー?」と新米ママさんはびっくりしたのではないのでしょうか?

- 原因：生後まもなくのあかちゃんは、お母さんからもらったホルモンの影響で、皮膚から脂がたくさん出てきます。それが刺激となって、できたものです。生後2～3ヶ月頃によくみられます。
- 症状：髪の毛やまゆ毛などの、皮脂腺の多いところに、黄色いかさぶたや黄白色のかさかさかができ、その周りに赤く盛り上がったブツブツができます。
- 治療：せっけんでよく洗い落とします。(せっけんは、よく泡立てて泡だけで洗ってあげます。直接塗り込んだり、ゴシゴシこすったりしないでください。すすぎは十分にしてください。) オリーブオイルをぬって、ふやかしてから洗ってあげると、きれいに取れる場合もありますよ。炎症がひどい場合は、ぬり薬を使うことがあります。

(治療については、お医者さんの判断によりちがいます。ここには一般的なものを記載しています。)

- 病院に行くタイミング：かさぶたのはがれたところが、ただれてきたとき。
- 予防：日ごろから、よく洗ってあげる。

脂漏性湿疹は、いつまでもつづきません。あまり心配しないでください。

## 気になる症状 「おねしょ」

幼児期に、夜寝ている間におもらしをすることを「おねしょ」といいます。5歳でも5人に1人くらい、10歳でも20人にひとりくらいはおねしょをするといわれています。大きくなると自然に治ることがほとんどなので、まずは、あせらずに待ちましょう。

ただ、小学生になっても、毎日のようにおねしょをする場合は「夜尿症(やにょうしょう)」と診断される場合があります。診断を受け、正しい指導や治療を受けてください。

おねしょは、普通のことです。ほかの子とくらべず、みまもってあげましょう。もし、おもらしをしてしまっても、しからなくてください。お子さん自身、十分わかっています。しかられたら、さらに不安になってしまいます。おねしょをしなかった日に、しっかりほめてあげましょう。

「あせらない、おこらない、おこさない」が原則です。

おうちでできることをあげてみました。

- ①無理に夜中におこさない。(おしっこに関係するホルモンのバランスがくずれます。)
- ②水分の取り方に注意する。(寝る前3時間は水分をとらないようにしましょう。)
- ③規則正しい生活のリズムをつくる。(不規則な生活は悪化の原因です。)
- ④冷え症状の対策をする。(寝る前に入浴して、からだを温めましょう。冬は布団も温めましょう。)
- ⑤がまんの訓練をする。(からだの中でおしっこをためる膀胱が小さい場合は、効果的が期待できますが、がまんしすぎるといけないので、やりすぎは厳禁です。)

でも、どうしても気になる場合は、お医者さんに相談してくださいね。

キタバ薬局 国分本町店